

2010津別ウッドクラフト展

あったらいいなあ、こんなもの

使って楽しい、飾って楽しい
癒しを感じる「木」の用品

愛林のまち・津別町の木工展覧会「2010ウッドクラフト展」
13回目となる今回のテーマは「癒しを感じる木の用品」です。
今回は全国各地からテーマに沿った29点の作品が寄せられました。
審査の結果、入賞した11点の作品をご紹介します。

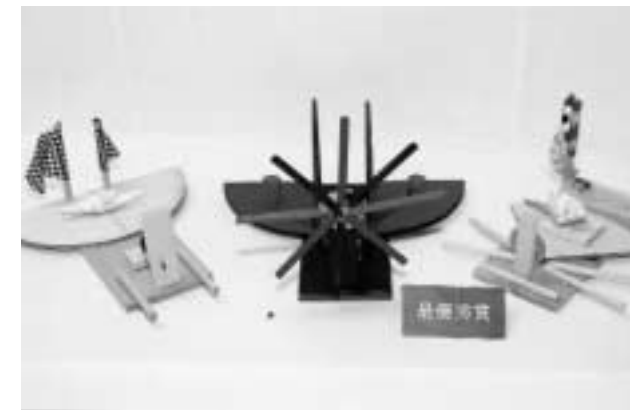
大人の部 最優秀賞 「森人の器」



加賀谷 健至さん（札幌市）

【講評】
形、色合いなどから『癒し』を感じる作品です。合板の積層の技術も素晴らしく、かつ美しく、総合面で本年の作品の中では群を抜いています。また、実用性に富み、飾っても良く「あったらいいなあ」というより、欲しいと感じる作品です。

小学4年生以下 子どもジュニアの部 最優秀賞 「船」



佐伯 竜也さん（津別町）

【講評】
独創的な作品です。材料の組合せや配置に苦勞のあとが伺えます。よく考えた作品です。

小学5年生以上 子どもシニアの部 最優秀賞 「ベンチでくつろぐあひるの親子」

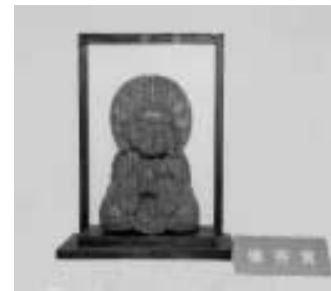


柳瀬 友二郎さん（津別町）

【講評】
親子の語らいが聞こえてきそうです。色合いや表情がやさしくかわいい作品です。発想がユニークです。

大人の部 優秀賞 「じぞうさん」

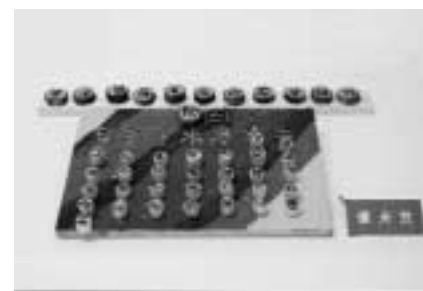
牧 芳彦さん（愛知県吉良町）



【講評】
埋木を利用していると思われませんが、樹種
の選択が良く、木の特性を活かした作品です。ふくよかな顔の表情がなんとみえず、何でも許してくれそうな雰囲気があります。ご利益がありそうです。

子どもジュニアの部 優秀賞 「万年カレンダー」

後藤 里乃さん（津別町）



【講評】
木の輪切りでカレンダーの月と日にちを表示したのがアクセントとなっています。色塗りも一生懸命さが感じられます。

子どもシニアの部 優秀賞 「せんぷうき」

前田 滉太さん（津別町）



【講評】
台にはリサイクル品を利用し、キットを使わず自力で仕上げた作品です。扇風機からの心地よい風が印象的です。

審査員特別賞（大人の部） 「好きなキャラパズル」

上杉 知史さん（津別町）



【講評】
シナ合板を1枚1枚切り抜き、貼り合わせ、下まで貫通していないパズルになっています。細部まで丁寧に仕上げられており、加工技術が優れています。造形美も素晴らしく芸術的センスを感じます。

大人の部 優秀賞 「ティディベア」

鈴木 真理さん（北見市）



【講評】
思わず「かわいい」と言ってしまう作品。経木を利用していますが、曲げや貼り合わせなど難しい素材を確かな加工技術で仕上げられています。バランスも良いです。

子どもジュニアの部 優秀賞 「木琴」

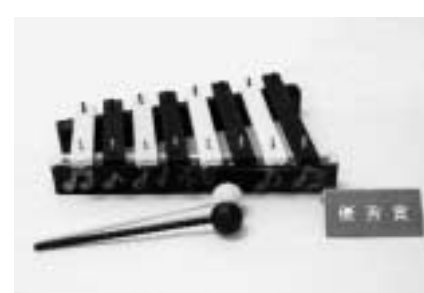
オ川 智希さん（津別町）



【講評】
素材の持ち味を生かし、バランスよく作り上げています。

子どもシニアの部 優秀賞 「木琴」

工藤 春花さん（津別町）



【講評】
木琴の音色を変えずに、配色によるデザインで作品に変化を与えています。この創造性を今後も持ち続けて欲しいものです。

審査員特別賞（大人の部） 「丹頂鶴、ペンギン」

守屋 茂さん（埼玉県八潮市）



【講評】
日本伝統の象眼という技術を駆使した作品。技術が秀でていることはもちろんですが、木目を活かした構図などから、動物が動き出しそうです。